

ユネスコの「世界の記憶」「朝鮮通信使に関する記録」の一部が、九州歴史資料館に移管されました。

2017年10月に福岡県立図書館が所蔵する「黒田家文書」の朝鮮通信使関連資料15点が、ユネスコ記憶遺産「世界の記憶」に登録されました。福岡県ではその保存・活用を図るため、体系的な調査を進めてきました。このたび、その調査が終了し、文書を九州歴史資料館で保管することになりました。



「世界の記憶」とは

1992年に開始され、「世界遺産」「無形文化遺産」にならぶユネスコの三大事業の一つです。世界的に重要な記録物への認識を高め、最もふさわしい技術を用いた保存を促進し、なるべく多くの人々がアクセスできるようにすることを目的としています。

朝鮮通信使とは

「通信使」とは、「信(よしみ)を使わず使節」という意味で、朝鮮から日本への国書を持って派遣された外交使節です。江戸時代に将軍の代替わりを祝うため、1607年の第1回から、1811年の第12回まで派遣されました。

両国の威信をかけた外交行事であったため、幕府が総力をあげて準備し、道中にあたる各藩がリレー形式で接待しました。福岡藩は、通信使の案内役として一行に同行する対馬藩を除き、最初に接待を行うため、その責任は非常に重いものでした。

朝鮮通信使に関する記録：17世紀～19世紀の日韓間の平和構築と文化交流の歴史

「朝鮮通信使に関する記録」の登録申請は、日韓両国の民間団体によって行われ、日本側の資料 48 件 209 点、韓国側の資料 63 件 124 点、合計で 111 件 333 点にも及びます。これらの資料は〈1 外交記録〉、〈2 旅程の記録〉、〈3 文化交流の記録〉の 3 つに分類されています。

黒田家文書とは

「黒田家文書」とは、福岡藩黒田家に伝来した総計590件1013点に及ぶ江戸時代中期以降の福岡藩庁の記録です。1964年に、旧藩主黒田長礼氏より福岡県に寄贈された資料を中心としています。膨大な「黒田家文書」の中には、朝鮮通信使に関係する資料が50点含まれています。このうち、第11回（1764年）、徳川家治の将軍慶賀のため来日した際の記録である「朝鮮人来聘記」11冊と「朝鮮人帰国記」4冊が「朝鮮通信使に関する記録」（2 旅程の記録）として「世界の記憶」に登録されました。

朝鮮人来聘記



「世界の記憶」登録を記念し、2018年4月22日、全国モーターボート競走施行者協会からの拠出金を受け、福岡市のエルガーラホールで『朝鮮通信使に関する記録のユネスコ「世界の記憶」登録記念シンポジウム』を行いました。

シンポジウムでは、全国でも珍しく高校付属の博物館がある糸島高等学校歴史部の生徒、「世界の記憶」に登録された「小笠原文庫」を所蔵している同窓会がある育徳館高等学校の生徒による研究発表及び国立歴史民俗博物館の荒木和憲氏を講師に迎えた基調講演やパネルディスカッションを行いました。

県内外から多くの参加があり、「通信使の歴史について多角的に学ぶことができました」などの感想をいただきました。

朝鮮人帰国記



九州歴史資料館

KYUSHU HISTORICAL MUSEUM

〒838-0106

福岡県小郡市三沢 5208-3

☎ 0942-75-9575

FAX 0942-75-7834

URL <http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/kyureki/>

開館時間 午前9時30分～午後4時30分(入館は午後4時まで)

観覧料 一般200(150)円 高校生150(100)円

※満65歳以上・中学生以下・障がいの

ある方(同伴介護者1名)無料

※土曜日は高校生も無料

※()内は団体料金(20名以上)

休館日 月曜日(ただし祝日・振替休日の場合はその翌日)

年末年始(12月28日～1月4日) 5月7・8日

●公共交通機関

《西鉄電車》天神大牟田線三国が丘駅から徒歩約10分

《JR》鹿児島本線原田駅からタクシーで約10分

《小郡市コミュニティバス》東野・美鈴が丘ルート「九州歴史資料館」下車

西鉄三国ヶ丘駅西口から約3分(9:57・15:09)

日・祝は連休

●自動車

《九州自動車道》筑紫野 I.C. から鳥栖筑紫野道路経由で約15分

《大分自動車道》筑後小郡 I.C. から国道500号線・県道88号線経由で15分

《福岡都市高速》水城出口から国道3号線経由で約25分

